



出張報告書

令和 4年12月1日

尼崎市議会議長 様

会派名 日本維新の会
代表者氏名 辻 信行
出張者氏名 長崎くみ

このたび、出張しましたので、次のとおり報告します。

1 出張期間 令和4年10月19日から令和4年10月21日まで

2 結果の概要

用務先	報告事項 (この欄には要点を箇条書きにし詳細事項がある場合は別紙添付) 令和4年度市町村議会議員研修 3日間コース 1 地方財政制度の基本と自治体財政
添付書類 <input checked="" type="checkbox"/> 出張調査報告書 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	備考

3 届出事項の変更等 なし あり (内容は裏面に記載)

旅費の精算

<input checked="" type="checkbox"/> 精算額は、令和4年9月27日届け出た額 (7, 440円) と同一額である。
<input type="checkbox"/> 届出事項の変更等により、別途精算する。(精算額は裏面に記載)

(裏面)

届出事項の変更等の内容

変更等の事項と理由

支 出 額	
精 算 額	
支出 差引 額 戻入	

変更前と後の日程

	月	日	日	日	日	日	日
前 発着地							
後							
前 経 路							
後							
前 用務先							
後							
前 宿泊先							
後							

令和4年度市町村議会議員研修報告書

日本維新の会尼崎市議団 長崎くみ

テーマ：「地方財政制度の基本と自治体財政」

研修場所：全国市町村国際文化研究所 (JIAM)

日時：令和4年10月19日～10月21日

●研修までに事前課題を提出（別紙1参照）

- 1.当市の財政状況等を確認し、気づいたことを記載。
- 2.当市の基礎データ等を確認し、財政運営上の課題について記載。

●当研修には全国から76名の市町村議会議員が研修に参加。

・10月19日（水）

（1）講師：鳥取県伯耆町町長 森安 保 氏

テーマ：伯耆町の財政運営と財政健全化

内容：伯耆町は人口約1万人、財政規模は歳入75億、歳出73億。

町長に就任時（14年前）に高齢化率30%超え、令和2年度は38.0%。

・町の運営において、総合計画を5年に1度策定し、施策と満足度が上がっているのか下がっているのかアンケート等で検証してきた。

・財政運営においては、入りと出のバランスが崩れることによって、不健全と言われる。将来の備えができない、身の丈に合わない出を作ってしまうことが不健全。標準的な行政サービスは担保されているが、自治体独自のサービスにおいて、お金が足りなくなると縮小しなければならなくなる事が不健全、財政は持続的であるべき。健全化した運営については自治体でしっかりと議論すべき。

伯耆町の事例を踏まえ、各自治体の財政調整基金、地方債の財源構成、将来の推移などを知っておくべき。

学び：伯耆町と尼崎では人口や財政規模は違うが、尼崎市の高齢化率は令和2年度29.6%、令和22年度には35.8%に上昇の見込みとなっており、財政健全化に向けて、健全な財政運営を維持できるために、議員として持つべき視点を学んだ。

（2）意見交換会

参加議員がグループに分かれて、それぞれの自治体の財政問題についてどのように学ぶかの意見交換会を行った。

私は6名のグループであり、それぞれ市町の状況と課題を発表しあい、意見交換の内容を会場でグループ代表として発表した。

- ・面積が広い町は居住地が分散されており、コロナ禍もあって一カ所での集会ができない。公共施設の長寿命化や建て替え、統合問題はどの自治体も抱えていた。
- ・漫画やアニメの人気で観光人口の流入を見込んでいる町もあった。
- ・自治体としてどのように投資的事業を行っていくが今後の課題。

10月20日(木)

(3) 講師：総務省地方財政審議会 会長 小西 砂千夫 氏

テーマ：地方財政制度の基本、よくある質問

内容：講師は昨日の意見交換会に ZOOM にて参加、各グループから出た自治体の課題に対する回答も交えての講義であった。

・財政制度の仕組み、六本図の解説

財政制度の必修科目の所用額は全額交付税、任意科目については自治体の財政によって差が出てくる。

例：小学校の教育は必須科目、建物の整備については任意科目どこまで整備を行うかは各自治体が判断する。

例：子育て支援→医療費無償化は任意事業のため、やりすぎると財政が悪化する。しかし、財源が許すなら優先順位を高く設定して行っている自治体あり。

これに伴い、病院に行く機会が増え医療保険制度の負担増もある。

学び：議員として地方財政計画の基準財政需要額、留保財源には何が入っているのかそして、そのバランスはどうかを見ていく必要があることを学んだ。

地域によっては、気候（積雪量が多い地域）により必要なサービスがあり、それが足りなくなると特別交付税手当されることなども理解した。

生活保護が増えても財政はひっ迫しないのではないかと、担当課はそのように説明するがという質問もあり、財政状況が社会保障給付費でひっ迫しているという感覚を担当課は持っているとの認識も学んだ。

10月21日(金)

(4) 講師：兵庫県川西市 副市長 松木 茂弘 氏

テーマ：財政健全化における川西市の取り組み

内容：川西市の概要、財政状況の分析と健全化への取り組みの講義

運営側（行政側）からの大事な視点として住民ニーズに合った、資源の最適配分が重要。いかに持続して良いサービスを担保できるか、人口は減っていることで資源は下がる。川西市においてマンパワー不足があったが採用に対する2点の条件（民間企業に5年・まちづくりに意欲がある）で良い人材の確保に努めた。自分の自治体の財政状況は正しく分析し、経常収支は高め安定が当たりまえ。基金がたまっていることは自慢ではない、住民に安心感を与えることは重要だが、良い資源の最適配分で住民サービスの持続性を確保。

学び：この講義では、今、自分の自治体ではどうなっているのかを財政分析から考える必要性を学んだ。一般財源総額が減っていない事、そしてブレーキ（事業改革）とアクセル（投資的事業）のバランスが大事だということも何度も教わった。

令和4年度「地方財政制度の基本と自治体財政」事前課題

団体名	尼崎市	議会	氏名	長崎くみ
-----	-----	----	----	------

- ◆提出期限: 令和4年 9月27日(火) 必着
- ◆提出先: 全国市町村国際文化研修所教務部 XXXXXXXXXX
※提出の際は「★」を半角の「@」に変換してください。
- ◆提出いただいた資料は、「演習」等の際に活用いただくため、講師及び受講者全員に配付させていただきます。ご了承ください。

1 貴市町村の財政状況等について確認してください。

- ①令和2年度における各市町村別のデータから、貴市町村の財政状況等をご確認ください。

(参考: 令和2年度財政状況資料集)

https://www.soumu.go.jp/iken/zaisei/jyokuyou_shiryou/r02/index.html

- ②上記①で確認いただいた貴市町村の「令和2年度財政状況資料集」データから、気がついたことを次の欄にご記入ください。

長年、尼崎市は行財政改革に取り組んできました。令和2年度の決算では、黒字になっていますが、これまでの財政再建に向けた取組の成果だと考えます。また、3つの基金においては約300億と類似都市並みに残高があります。公営企業会計の中のモーターポート競争事業会計が令和2年度において、コロナ禍において、落ち込むことを予測しましたが、反対に形式収支が28億円となりました。しかし、将来負担比率が高く、今後どのように市債発行を抑制し、将来負担比率を下げていくかが課題だと考えます。

2 貴市町村の基礎データ等についてご記入ください。

- 令和2年度における下記の項目についてご記入ください。 ※添付資料を参照してください。

(参考: 令和2年度市町村決算カード)

<https://www.soumu.go.jp/iken/zaisei/card-21.html>

項目	データ	特記事項
①人口(R3.1.1現在)(住民基本台帳人口を記入)	459,593 人	⑥黒字だったために、0にしています。
②面積	50.72 km ²	
③標準財政規模	101,766,100 (千円)	
④財政力指数	0.84	
⑤実質収支比率	0.4 (%)	
⑥連結実質赤字比率	0 (%)	
⑦実質公債費比率	10.9 (%)	
⑧将来負担比率	51.4 (%)	
⑨積立貯金残高(財政調整基金)	9,429,563 (千円)	
⑩地方債現在高(人口1人当たり)	489,142 (円)	
⑪経常収支比率	97.4 (%)	
あなたの考える、財政運営上の課題について	尼崎市においては、類似の中核市と比較すると、将来負担比率が高く、今後も施設の老朽化で建て替えや改修工事が続く予定されており、市債の発行予定です。市税や法人税などの安定した収入の確保をする為の取り組みが必要と考えます。	